

科学技術イノベーションにおける「統合化」議論まとめ

1. 統合化の推進方策

(1) 統合化で何を実現するのか？

- 研究開発・ものづくりにおけるパラダイムシフト(中村)
- プラットフォーマー(統合化システムの勝者)、キーコンポーネントプレイヤーへの展開(富山)
- 同床異夢で互いの目的のためのオープンイノベーション・グローバル化(馬場)
- 地域主体の社会変革(天野)
- 安寧な(ハピネス)社会—日本から世界へ(小寺)
- 産業界のグローバル化に向けた幅広い視点からの競争力強化(住川)
- 都市と地方の格差問題の解決(富山)

科学技術イノベーションにおける「統合化」議論まとめ

1. 統合化の推進方策

(2) 統合化実現のための残された課題は？

- システム、サービス指向の研究開発(中村)
- 複数の物体 / 概念の統合による価値の創造(住川)
- モノづくりとサービスの結合(住川)
- 情報科学技術の活用(中村)
- ビッグデータ・人工知能のプラットフォーム獲得(富山)
- 長期的かつ非営利目的のための資金の調達(富山)
- 深化の上に立った統合化の進展(馬場)
- 学内文理共同研究の推進(馬場)
- 相互期待感の相違、期待と結果の相違の克服(住川)

科学技術イノベーションにおける「統合化」議論まとめ

1. 統合化の推進方策

(3) 誰が何をすべきか？

- 大学・研究開発法人を中核としたイノベーションハブの構築(中村)
- 国内外の大学・研究機関・企業のネットワーク化(小寺)
- 科学と社会／市民の共創(中村)
- モデル都市の主体的取組みへの官民支援(天野)
- 自治体の情報拠点の整備と広域連携(天野)
- 市民および企業の自主活動の推進(天野)
- 公共性と事業性を両立する公益型事業体の構築(富山)
- バックキャスティングによるビジョン形成(小寺)
- 社会的課題からプロジェクトへのブレイクダウン(天野)
- 応用研究と実用化開発の同時進行(小寺)
- 複合的アプローチの同時進行(天野)
- 学内連携・融合組織の構築(小寺)

科学技術イノベーションにおける「統合化」議論まとめ

2. 統合化推進のための人材発掘・育成策

(1) 統合化推進人材に求められる要件は？

- Multidisciplinary/Transdisciplinary人材(中村)
- プラグラム・マネジメント人材、起業人材(中村)
- プログラムマネジャー型「つなぎ人材」(富山)
- ベンチャービジネスの担い手(富山)
- 地域主体の社会変革の担い手(天野)
- 学内教員と職員の間の中間人材(小寺)
- 総合力、異分野統合(馬場)
- コラボレーティブ・イノベーション人材(挑戦心、異分野協働)(馬場)
- 解決策を探索する能力(住川)
- 基盤原理の理解の重要性自覚(住川)
- 未知の課題に挑戦し咀嚼する能力(天野)

科学技術イノベーションにおける「統合化」議論まとめ

2. 統合化推進のための人材発掘・育成策

(2) 統合化推進人材をどのように発掘・育成するか？

- 教育の多様化、教育への時間・ヒト・カネの投資(馬場)
- 研究マインドを育む教養教育(馬場)
- 産学連携— Industry on Campus(馬場)
- 担い手となる住民と地元企業の育成・支援(天野)
- 疑問解決プロセスの体験(住川)
- 課題解決の経験(天野)、ブレークスルーの体験(小寺)
- グローバルエリート人材／ローカル技能人材の育成(富山)
- 文理選択の廃止(富山)
- 融合領域と既存学問領域との関係性(小寺)
- インセンティブ、評価、キャリアパスの整備(小寺)
- 教員が多様な経験を積む環境の整備(馬場)
- 文系学生を教育する理系教員の育成(馬場)
- 大学の高校生獲得、産業界による大学での社会人育成・獲得(馬場)
- 多様性の容認と機会平等性(住川)
- 終身雇用制度の廃止、横移動の活性化(富山)